

## 宮崎現地実行委員会結成総会開催しました!



働く人々のいのちと健康を守る学習と交流の場として 1990 年にスタートした九州セミナー。毎年九州各県持ち回りで重ねられてきた 33 年の歴史と成果を引継ぎ、第 33 回九州セミナーが、今年 11 月 18 日(土)・19 日(日)に宮崎で開催されることが決まりました。コロナ禍を経て久しぶりに現地集合形式での開催を模索したいと思います。2 月 24 日(金)、宮崎医療生協本部で 22 名が参加し現地実行委員会が結成されました。

### 呼びかけ人代表挨拶

上野満さん

(前回宮崎実行委員長・宮崎生協病院)



前回 2011 年宮崎大会のメインコンセプトは「子どもの貧困」。この 12 年間に宮崎でもいろいろ動きあり、新しい九州セミナーになるのではないかと。力を合わせて成功させましょう。

### 経過報告

松本朋美さん

(働く人のいのちと健康を守る宮崎県連絡会)

前回宮崎大会翌年に結成した連絡会“いの健”中心に過労死シンポジウム等に取り組んできた。準備会を重ねて本日を迎えた。



### 代表世話人会代表挨拶

田村昭彦さん

(九州セミナー代表世話人会議長)



今年宮崎は 3 回目の開催。前回 2011 年は「子どもの貧困」をコンセプトに山野良一さんの記念講演で約 600 人の参加があった。口蹄疫や新燃岳噴火、東日本大震災に直面した年で、2 日目に「大災害の中で働く人々の健康をどう守るか」のテーマを設けた。

九州は昔から労働災害に悩まされた地域。働く人々の健康権確立を基本コンセプトに、職業病の元になる働き方、働かせ方を問題にしていこうと、毎年秋に 1 泊 2 日でセミナーを開催しながら継続的に学びと活動を続けてきた。

2020 年はコロナで 1 年延期、2021 年と 2022 年はいずれも完全 WEB 開催だったので、今年は原点に戻って現地で集まる開催を追求したい。

前回宮崎大会の翌年に宮崎で「働く人のいのちと健康を守る宮崎県連絡会」が結成された。九州全体と現地と補い合いながら、誰もが主人公、みんなが先生でみんなが生徒の楽しいセミナーにしていきたい。

## 宮崎の現状リレートーク



### ■ 兎師勝雄さん(宮崎県医労連)

コロナ対応で残業多く疲弊の中でやってきた医療従事者の労働条件・賃金が低いことを国会議員や厚労省に訴えていく。国立病院も独法化して初めて全国一斉に1時間のストライキを打つ予定。

日本は精神科病院への入院が極めて長く、宮崎もかなり長く問題。国連からの勧告もあり患者の人権回復のためにも努力していきたい。

### ■ 落合邦博さん(宮崎医療生協)

“悲鳴を上げる介護現場”について報告。①人手不足～2025年に38万人不足、②賃金安い～平均より年収100万円低い、③過酷な労働～16時間夜勤等、④コロナ～クラスター医療機関



17%、高齢者福祉施設20%、陽性になっても施設で療養、職員のストレス大きい。低く切り下げられ固定化された介護報酬は国の政策が背景に。介護施設倒産・休廃業増加で制度が使えない状況になりかねない。大軍拡の予算は社会保障に、介護職の賃金UP・処遇改善にこそ振り向けるべき。

### ■ 野沢光子さん(建交労)



じん肺や職業病など潜在する被害者の掘り起こしや救済に取り組んできた。建設業を中心とするフリーランス・一人親方の組織化、労働局に対する企業への指導の要請などの活動を行っている。

### ■ 矢野弘子さん(新婦人)

会員にはシングルマザーでダブル・トリプルワークする女性、少ない年金で暮らす高齢女性、生活保護を受ける女性がいる。なぜそんな状況に？先輩会員たちが社会進出する女性の権利を勝ち

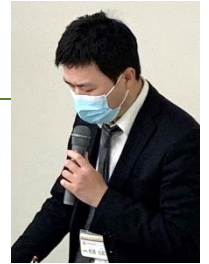
### 現地実行委



取ってきた。しかし女性が働き続けることをまだまだ拒み続ける社会状況。賃金格差、年金格差・格差は家庭にも持ち込まれている。ジェンダーの視点で職場を見直そう。女性が働きやすい職場・社会は男性も働きやすい。

## 各種提案

- 現地実行委員会参加呼びかけ
- 現地実行委員会申し合わせ事項
- 呼びかけ人・役員
- 当面の活動方針



すべて承認されました。実行委員長・成見暁子さん(宮崎くすの樹法律事務所)、事務局長・松浦光宏さん(宮崎民医連)、事務局・松本朋美さん(いの健宮崎)、吉田博明さん(宮崎民医連)が選出され、これから拡充していくこと、実行委員を募り広げていくことを確認しました。

## 実行委員長挨拶

成見暁子さん(宮崎くすの樹法律事務所)

九州各県の現場の実態や取り組みを持ち寄り、学習・交流する九州セミナーの宮崎リアル開催楽しみ。宮崎でも当日までに企画を重ね、幅広く力を合わせて充実した取り組みにしたい。基本コンセプトも議論していきましょう。



## 閉会挨拶

西田隆二さん(西田法律事務所)

宮崎の労働弁護団で週1回の無料法律相談。2022年は47件、半数近くがパワハラ・セクハラ問題で働きづらさの訴え。女性の相談も多い。地方の宮崎でも相当数の過労死が起きている。11月の九州セミナー、力を合わせて成功させましょう。



### ● 今後の予定 ●

- 3月6日(月)19時～第1回事務局会議(ZOOM)
- 3月22日(水)19時～第2回事務局会議(ZOOM)
- 4月下旬～5月中旬 第1回実行委員会予定

事務局まで  
ご連絡  
下さい♪

# 九セミ宮崎 2023 を一緒に作りましょう。 現地実行委員会へのご参加お待ちしております

九セミ宮崎 2023 開催の趣旨に賛同いただける宮崎県内の団体・個人のみなさまに広く呼びかけます

## 基本コンセプト “性差別と人間らしく働く権利”

### ～ジェンダー平等社会を一緒に創ろう！～に決定

今年11月に開催予定の第33回人間らしく働くための九州セミナーin宮崎の基本コンセプトが決まりました！九州セミナー史上初めて、性差別とジェンダー平等を正面に掲げて取り組みます。

世界経済フォーラムが発表した2022年のジェンダーギャップ指数のランキングで、日本は146カ国中116位と低く先進国でダントツ最下位。特に賃金の男女格差や専門職・技術者・管理職の男女比などが指標とされる「経済」分野が121位、国会議員や閣僚の男女比などが指標とされる「政治」分野が139位とかなり低くなっています。また経済誌エコノミストが今年の国際女性デーに合わせて発表した主要29カ国の「女性の働きやすさ」ランキングで、日本は最下位の韓国に次いでワースト2位。‘女性が家族かキャリアのどちらかを選ばなければならない’状況が要因と指摘されました。公正なはずの医学部入試で、衝撃的な女性差別が明らかになったのはわずか5年前の2018年のこと。私たちの社会は、男女の賃金格差が大きく、不安定な非正規雇用に占める女性の割合が高く、管理職や専門職に占める女性の割合が低く、セクハラやマタハラが横行し、女性の人格、尊厳、心身の健康を損ねています。連綿と続く構造的な女性差別に、コロナ禍が追い打ちをかけています。

1979年に誕生した(1985年に日本批准)女性差別撤廃条約は、女性を権利の主体と位置づけ、性別役割分業を否定し、職場でも家庭でも、女性の権利の実現の障害となっているもの～法制度や慣行、偏見の撤廃を掲げ、女性に対するハラスメントを含むあらゆる暴力をなくそうとしています。ジェンダー平等は国連SDGsの目標であり、世界的で歴史的で現代的な課題です。

性差別をなくすため奮闘し道を切り拓いてきた先人たちに敬意を表し、いま声を上げ闘っている人、声を上げられない人に連帯し、性差別なく誰もが人間らしく働く権利を実現するにはどうすればよいか、私たちの足元から共に考えるセミナーにしたいと思います。

ぜひご参加  
下さい♪

## 5/13(土)第1回現地実行委員会開催します♪

第1回現地実行委員会開催が決まりました☆  
学習会、リレートークにはどなたでも参加でき  
ZOOM配信もします(無料・予約不要)。

ぜひお誘い合わせの上、お越し下さい☆

日時：2023年5月13日(土)

時間：14時～16時頃

場所：JA・AZM別館202研修室

ZOOM配信：<https://onl.bz/MxnRhxu>

### ■リレートーク(15:15～15:30頃)

職場の状況や取組みについて、報告してもらいます。報告を希望される団体・個人の方は、事前に事務局までお知らせ下さい。

### ■現地実行委員会(15:30～16:00頃)

セミナーの企画内容や基調講演、職場アンケートの取組みなどについて意見交換する予定です。

### ■学習会(14:05～15:05頃)

政治にジェンダー平等を  
人間らしく働く権利と  
地方自治体の役割



講師：上原公子(うえはらひろこ)さん  
1949年5月3日宮崎市生まれ。県立宮崎大宮  
高校、法政大学文学部卒業、同大学院修士課程  
中退。1991年から1995年まで国立市議員、  
1999年国立市長選挙に当選、東京都初の女性  
首長となり、2期8年間国立市長を務めた。

## 第2回現地実行委員会開催のお知らせ

第2回現地実行委員会開催も決まりました☆

宮崎県男女共同参画センター前所長の山田成美さんを講師にお招きして、学習会を行います。学習会にはどなたでも参加できますので(無料・予約不要)、お誘い合わせのうえお越し下さい。

日時：2023年7月8日(土)

時間：14時～16時頃

場所：宮崎市民文化ホール会議室

Zoom  
配信予定

### 学習会

講師：山田成美(やまだなるみ)さん



宮崎市出身。30余年に亘り国連に勤務。労働条件の調査・国際比較、開発援助策の立案・運営・評価等に携わる。現在NPO法人みやざき男女共同参画推進機構理事、宮崎公立大学客員教授。

## 私たちが九セミ宮崎 2023 現地実行委員会事務局を担当します！

現地実行委員会事務局をご紹介します。

### ■実行委員長

成見暁子さん(宮崎くすの樹法律事務所)

### ■副実行委員長

江良尚良さん(宮崎県労連)

大木泰幸さん(宮崎県医労連)

永友英之さん(宮崎生協病院)

### ■事務局長

松浦光宏さん(宮崎民医連)

### ■事務局員

大口玲子さん(歌人)

図師勝雄さん(宮崎医労連)

日高礼子さん(コープみやざき労組)

松本朋美さん(いの健宮崎連絡会)

村岡史郎さん(宮崎県労連)

矢野弘子さん(新婦人宮崎県本部)

吉田博明さん(宮崎民医連)

★実行委員(団体・個人)は現在31名です。

事務局まで  
ご連絡  
下さい♪

# 九セミ宮崎 2023 を一緒につくりましょう。 現地実行委員会へのご参加お待ちしております

九セミ宮崎 2023 開催の趣旨に賛同いただける宮崎県内の団体・個人のみなさまに広く呼びかけます



## 「ジェンダーと健康」セミナー開催@福岡市

九州セミナー本部が、第6回課題別セミナーとして、「ジェンダーと健康」をテーマに福岡市で以下の要領・内容でセミナーを開催します。

ZOOMでの視聴参加もできます。申込方法は5月1日から九州セミナーWEBサイトに掲載し受付を開始します。 <http://www.kyusemi.jp/>

- 日時 2023年6月10日(土)
- 場所 福岡市博多区(博多駅東側)  
リファレンス駅東ビル3階H2会議室
- 参加費 九州セミナー関係者は無料
- タイムスケジュール  
10:30 開会  
10:40 第1セッション  
「働く場でのジェンダーと健康(仮)」  
北原照代准教授(滋賀医科大学)  
13:00 第2セッション  
「胎児の労災が認められ産業災害補償法改正された韓国からの報告」  
キム・ヒョンジュ教授(梨花女子大学校)  
15:10 第3セッション  
「生理休暇の誕生(仮)」  
田口亜紗氏(成城大学民俗学研究所)  
16:30 閉会

### ●今後の予定●

- 4月3日(月)19時～第3回事務局会議(ZOOM)
- 4月19日(水)19時～第4回事務局会議(ZOOM)
- 5月10日(水)19時～第5回事務局会議(ZOOM)
- 5月13日(土)14時～第1回現地実行委員会
- 6月10日(土)10時～第6回課題別セミナー
- 7月8日(土)14時～第2回現地実行委員会



## 第1回現地実行委員会を開催しました!

政治にジェンダー平等を  
人間らしく働く権利と地方自治体の役割

上原公子さん  
(元国立市議、国立市長)



5月13日(土)第1回現地実行委員会を開催し、現地とZOOMを合わせて約70名にご参加いただきました。発言要旨をご紹介します。

### 学習会

## 政治にジェンダー平等を 人間らしく働く権利と地方自治体の役割

本日のサブタイトルは、「生きる権利を知り、権利獲得のために行動しなければ変わらない」。

5月3日憲法記念日が誕生日。憲法前文～政治は国民が政治家に託すもの。地方自治体も同じ。不満を言うだけでは変わらない。

「まちづくり」の言葉を誕生させた市民自治の国立市の歴史。開発より環境!自分たちの街は自分たちで決める!日本で初めて市民が立ち上がりつづいた文教地区。

大学通りにマンション計画が持ち上がり、景観条例制定を求める直接請求運動へ。市長(当時)が反対し議会も否決したので市民が怒った。300人の原告で日本初の景観裁判開始、市民の後押しで「市民自治の復権」を目指し1999年上原市長誕生。教科書に「新しい権利」として取り上げられ、2004年「景観法」制定へ。新しい権利が生まれた。権利は闘って勝ち取っていくもの。

「人間らしい」とは?憲法97条～過去幾多の試練に耐え、現在及び将来の国民に対し信託された不可侵の基本的な人権。障がい者、LGBT当事者などマイノリティから憲法を見る。当事者が声を上げることで街が変わっていった。

「生きさせろ」の一揆。「これは私の権利」と言うことが大事。声を上げることは大変だが、みんなで支え、束になってかかることが大事。

自分らしく生きるためには、「環境」が必要。女性が無理せず管理職や政治分野に出て行くためには、みんなで環境を、政治を、変える必要がある。全部政治につながっている。

「ジェンダー平等を  
人間らしく働く権利と地方自治体の役割」  
上原公子 (うへはらひろこ) さん



講師: 上原公子 (うへはらひろこ) さん

1949年5月3日宮崎市生まれ。県立宮崎大宮高校、法政大学文学部卒業、同大学院修士課程中退。1991年から1995年まで国立市会議員、1999年国立市長選挙に当選、東京都初の女性首長となり、2期8年間国立市長を務めた。

### 代表世話人会代表挨拶

田村昭彦さん  
(九州セミナー代表世話人会議長)

働く人々の健康権確立のため、1990年より継続的に学びと活動を続けてきた。今年は久々に現地集合で開催予定。みんなが先生で生徒、楽しいセミナーにしていきたい。

### 現地実行会委員長挨拶

成見暁子さん  
(宮崎くすの樹法律事務所)

今年の基本コンセプトは「性差別と人間らしく働く権利」。ジェンダー不平等で大きな賃金格差や差別的処遇、ハラスメントにさらされている女性労働者は「健康」とはいえない。共に学び考え行動しよう。

### 司会

松本朋美さん  
(命と健康を守る宮崎連絡会)





スライドショーを使って活動報告

## リレートーク

### ●フラワーデモ宮崎

大口玲子さん、矢野弘子さん他

誰もが、世界中のどこにいても、暴力や差別におびえることなく、安全で平和に暮らす権利がある。毎月全国各地で開催されているフラワーデモ。宮崎市では毎月11日に山形屋前でスピーチやスタンディング、シール投票などを行っている。都城や日向、延岡、西都などにも広がっている。ぜひご参加を。

### ●医労連（宮崎県医療労働組合連合会）

函師勝雄さん

コロナ禍で医療・介護・福祉の現場は過酷な労働実態となっているが見合わない低賃金に据え置かれている。政府の施策は対象も金額も限定的で職場に分断を持ち込む結果に。ケア労働者の賃上げ・労働状況改善のためぜひご支援を。



### ●県国公（宮崎県国家公務員労働組合連合会）

簗田明憲さん

一部マスクミの公務員バッシングの中で情報発信が難しい。公務員の魅力が低下し定員割れの状況。公務にも‘能力主義’が持ち込まれ、民間でいうノルマが導入されようとしていて非常に問題。



## 第1回現地実行委員会

第1回現地実行委員会では、松浦光宏事務局長(宮崎民医連)より、役員体制や経過報告、セミナー当日のイメージの説明を行った。意見交換では、基調講演でお話を聞きたい講師や分科会のテーマ、アンケートプロジェクトなどについて意見交換した。



## 閉会挨拶

江良尚裕さん

(副実行委員長・宮崎県労連副議長)  
多くの参加で充実した実行委員会となった。まだ実行委員に登録していない人は登録していただき、一緒に取り組む仲間をさらに広げていきたい。



Zoom  
配信予定

### 第2回現地実行委員会

日時：7月8日(土)14時-16時  
場所：宮崎市民文化ホール会議室  
学習会：講師 山田成美さん  
「ジェンダー平等、まったなし！  
～持続可能な社会に向かって～」



Zoom  
配信予定

### 第3回現地実行委員会

日時：9月2日(土)14時-16時  
場所：未定 学習会：講師 富山幸子さん

### ●今後の予定●

5月24日(水)19時～第6回事務局会議(ZOOM)  
6月10日(土)10時～第6回課題別セミナー  
6月14日(水)19時～第7回事務局会議(ZOOM)  
7月8日(土)14時～第2回現地実行委員会  
9月2日(土)14時～第3回現地実行委員会  
11月18日(土)・19日(日)セミナー当日

事務局まで  
ご連絡  
下さい♪

九セミ宮崎 2023 を一緒に作りましょう。  
現地実行委員会へのご参加お待ちしております

九セミ宮崎 2023 開催の趣旨に賛同いただける宮崎県内の団体・個人のみなさまに広く呼びかけます

実行委員団体・個人現在計 65 名

## “性差別・ジェンダー平等アンケート”実施します

「労働組合用」と「個人用」 ご協力よろしくおねがいします★

今年の九セミ宮崎 2023 の基本コンセプト “性差別と人間らしく働く権利～ジェンダー平等社会を一緒に創ろう！～” を踏まえて、“性差別・ジェンダー平等アンケート” に取り組むことになりました。

労働組合用と個人用があり、個人用は匿名で、Googleform に入力する形式で、下記URLか <https://forms.gle/iV5qpW8vyEuwRYKX6>

右QRコードを読み取ることでお手持ちのスマートフォンから回答いただけます。九セミ宮崎 2023 参加団体の構成員、実行委員、当日参加予定の方が対象です。



個人用アンケートでは、雇用形態や家事(育児)の分担状況、育児休暇・生理休暇の取得状況、職場での性差別やハラスメントの有無・内容等を尋ね、労働組合用アンケートでは、組合役員の男女比率やジェンダー平等への取組み等を尋ね、集計分析結果は報告書とセミナー当日に発表します。

【アンケートに関するお問合せ】

宮崎県民主医療機関連合会事務局  
担当 中原志保

☎ 0985-23-7168

✉ [s-nakahara@miyazaki-iryuu.coop](mailto:s-nakahara@miyazaki-iryuu.coop)

### ジェンダー・ギャップランキング 2023 日本過去最低の 125 位..



6月21日世界経済フォーラムが各国の2023年版男女平等度ランキングを発表しました。日本は、146カ国中125位で過去最低。G7では79位のイタリアに大きく引き離されダントツ最下位。東アジア・太平洋地域でも105位の韓国、107位の中国にも抜かれて最下位。

ランキングは、政治、経済、教育、健康の4分野について平等達成度を指数化。政治分野は議員・閣僚に占める女性の割合の少なさなどから138位で、日本より下位の8カ国はイランやアフガニスタンなど女性の社会進出に消極的なイスラム教徒の多い国や21年のクーデタで国軍が実権を握ったミャンマーなどというから衝撃的です。経済分野も女性管理職の少なさや賃金格差(男性100に対し女性77.9。OECD平均の約2倍、G7で最大。2021年)などが要因で123位と低水準。教育分野は今回から大学等高等教育の就学率(105位)が加わりスコアと順位を下げました。

男女の賃金格差は高齢女性の低年金にも直結しています。安上りの労働と家庭での無償ケア労働を女性に強いるジェンダー不平等の積み重ねの結果です。

栃木で開かれたG7男女共同参画・女性活躍担当相会合は、6月25日、男女間の賃金差など経済面でのジェンダー格差を是正すべきだとの共同声明を採択しました。議長の日本だけ男性(小倉担当相)の集合写真がいろいろ象徴的。

この格差は、女性が人間らしく働いていないことを意味します。女性も男性も、ジェンダー差別をなくすため、声を上げ行動しましょう★

### 第2回現地実行委員会

7月8日(土)14時～

場所：宮崎市民文化ホール会議室

ZOOM 配信: <https://00m.in/95M3K>

学習会・リレートーク：14時～15時半頃

講師 山田成美さん

**ジェンダー平等、まったなし！  
～持続可能な社会に向かって～**

学習会・リレートークは、現地でもZOOMでも、どなたでも参加できます。予約不要・無料。

ぜひお誘い合わせの上ご参加下さい☆

第2回現地実行委員会：15時半～16時半頃

#### プロフィール

宮崎市出身。30余年に亘り国連に勤務。労働条件の調査・国際比較、開発援助策の立案・運営・評価等に携わる。現在NPO法人みやざき男女共同参画推進機構理事、宮崎公立大学客員教授。



## 11月18日九州セミナー1日目

# 水無田気流さん



### 基調講演決定!

本年11月18日(土)午後の基調講演は、水無田気流(みなしたきりう)さんに決定しました!

**プロフィール** 1970年生まれ、詩人、社会学者で、現在國學院大學経済学部教授。主にジェンダー論、文化・家族社会学論。『音速平和 sonic peace』(思潮社・2005年)で第11回中原中也賞、『Z境』(思潮社・2008年)で第49回晚翠賞受賞。『シングルマザーの貧困』(2014・光文社新書)、『「居場所」のない男、「時間」がない女』(日本経済新聞出版社・2015年)など著書多数。テレビや新聞等でもご活躍中。乞うご期待です。

し求められること、医学生理学上の性差をジェンダー不平等につなげてはいけないことを改めて共有する必要があると思いました。

### 第2セッション

「韓国の労働者の流死産と、2世の健康問題；胎児労災保険制度の導入と、以降の課題」  
キム・ヒョンジュ先生



(梨花女子大学附属木洞病院職業環境医学科・教授)  
韓国の半導体工場における「生殖毒性」を突き止め胎児労災を認めさせ、新保険制度を導入させた事例を詳細にご紹介いただきました。

韓国の労災制度が、被災者救済の視点から個別被災者の有害事象と疾病の厳密な因果関係を求めないこと、政府から独立した国内人権機関である人権委員会が労災保険法改正の勧告を出し迅速適切な被災者救済に貢献したこと、研究者が労働者や市民運動と連携して法制度の改善に精力的に取り組んでいることに感銘を受けました。半導体工場は九州各地に建設され他人事ではなく韓国の取組に学ぶ必要を感じました。

### 課題別セミナー「ジェンダーと健康」レポート

6月10日(土)福岡市で開催された九州セミナー本部主催の課題別セミナー「ジェンダーと健康」に現地実行委員長(成見)が参加してきました。



#### 第1セッション

「ジェンダーの視点から考える労働と健康」  
北原照代先生

(滋賀医科大学・社会医学講座衛生学部門・准教授)  
生物学・医学生理学上の性差と、労働が女性の健康に及ぼす影響、女性の特性が労働に及ぼす影響についてお話いただきました。夜勤・交代制勤務に発がん性がおそらく認められるとのことで、乳がんリスク増加と関連しているとの指摘は初めて聞き驚きました。男女問わず働き方の見直し



#### 第3セッション

「生理休暇はなぜ日本に誕生したのか」  
田口亜紗先生  
(成城大学民俗学研究所)

1947年世界で初めて日本で制度化され現在でもユニークな生理休暇制度の誕生の経緯や課題、今後の展望についてお話いただきました。

制度成立当時からあった「性差と平等」の問題に再び直面していること、時代に即し男女問わない休暇制度への発展的解消か堅持か、女性の主体的選択の重要性など興味深いお話でした。

### 第3回現地実行委員会

日時：9月2日(土)14時-16時  
場所：未定(ZOOM配信予定)  
学習会：講師 富山幸子さん  
(現宮崎県男女共同参画センター所長)



### ●今後の予定●

- 6月28日(水)19時～第8回事務局会議(ZOOM)
- 7月8日(土)14時～第2回現地実行委員会
- 7月12日(水)19時～第9回事務局会議(ZOOM)
- 9月2日(土)14時～第3回現地実行委員会
- 11月18日(土)・19日(日)セミナー当日

事務局までご連絡下さい♪

## 九セミ宮崎 2023 を一緒に作りましょう。 現地実行委員会へのご参加お待ちしております

九セミ宮崎 2023 開催の趣旨に賛同いただける宮崎県内の団体・個人のみなさまに広く呼びかけます

実行委員団体・個人現在計 94 名

## 第2回現地実行委員会を開催しました!



学習会

### ジェンダー平等待ったなし!!!

～持続可能な社会に向かって～

ジェンダーギャップランキング、他国が男女平等に取り組む中日本は遅れている。普遍的価値としての「ジェンダー平等」。世界共通の物差しによって実態が可視化されている。

国連の設立目的～平和構築、経済社会文化等分野での協調取組、人権尊重の3つ。1979年女性差別撤廃条約採択、日本は1985年批准し男女雇用機会均等法制定。事実上の平等実現のため1999年男女共同参画基本法制定。国際的な枠組みに連動し国内法整備されてきたが、日本の法律は緩い。

世界銀行はしっかり審査をして融資を行うが、女性のエンパワメントへの投資波及効果が大きいこと～女性の自己実現に繋がるだけでなく家族や子どもの健康や教育、次世代の人的資源にも繋がり、経済成長にも繋がる重要性が認識されてきている。2006年からジェンダーギャップ指数を発表している世界経済フォーラムは人権機関ではなくビジネスの意思決定に判断材料を提供する団体。持続可能な社会のため企業にとってもESG投資が主流に、金融界のトレンドになりつつある。

グローバル時代の地球規模の課題解決のためSDGs誕生、社会変革を図る必要。日本は特にジェンダー平等と環境の2つが課題。差別～賃金格差や非正規の割合、暴力～社会の構造的差別が家庭に/DV支援の不足、家制度が言葉を含め慣習・慣行に残る、家事育児介護の女性への負担、政策決定の場への女性参画の遅れ。女性の能力を制限し男性に必要以上の負担を強いてきた日本。ジェンダーギャップ解消は地方創生の鍵でもある。

講師：山田成美（やまだなるみ）さん  
宮崎市出身。30余年に亘り国連に勤務。労働条件の調査・国際比較、開発援助策の立案・運営・評価等に携わる。現在NPO法人みやざき男女共同参画推進機構理事、宮崎公立大学客員教授。

7月8日(土)第2回現地実行委員会を開催し、現地とZOOMを合わせて約50名にご参加いただきました。発言要旨をご紹介します。

### 現地実行会委員長挨拶

成見暁子さん

(宮崎くすの樹法律事務所)

2023年ジェンダーギャップはさらに後退して125位と過去最低。なぜ日本は遅れているのか、性差別やハラスメントをなくすためにどうしたらよいか足元から共に考えていきたい。



### 司会

大口玲子さん

(歌人)



### 閉会挨拶

田村昭彦さん

(九州セミナー代表世話人会議長)

本日の学習会でまた新たな知見を得ることができた。セミナー当日に向け引き続きみなさまのご協力をお願いしたい。



## リレートーク

### ●宮崎県農民連（宮崎県農民組合連合会）

来住誠太郎さん

何の農作物を作るか等男性が企画の権利を持っている現状。ただ若い世代は男女同じ目線で農業を見る分野が増えていると感じる。他県では草刈り機で草を刈ったりトラクターに乗ったりする女性が増えている。宮崎では1年に1000戸ずつ農家が減っている。今畜産農家が大変。生態系を生かした持続可能な農業、家族農業、地域と密接な農業を目指していきたい。



### ●障全協みやざき

（障害者の生活と権利を守る宮崎連絡協議会）

横山祐子さん

どの事業所も、今ヘルパーの人手不足で追い込まれ、障害者の通院外出にも影響が出ている。勤務していた事業所も求人を出しているが応募がなく、50代から70代の職員が支えている。利用者都合のキャンセルに国からの補填はなく事業者が自腹で補い規模縮小や閉鎖に繋がる状況。障害児は特別支援学校学級で過ごすことが多く高齢者に比べて関わりが少なく接するハードルが高いのかも。日本は障害者権利条約を批准し国連から厳しい勧告を受けているが改善に動く気配がない。差別・不平等等障害者が置かれた状況は厳しく、関連する労働者の労働環境も過酷。



●コープみやざき労働組合

日高礼子さん

時給1000円を目指す運動に取り組んでいる。従業員は従前扶養される女性が多かったが最近はシングルマザーが増えている。配偶者の年収も低く子どもを育てるには足りず時給1500円は必要で、社会保障の充実も大事。パート労働黒書作成中。教育・子育てに苦しむ切実な声が寄せられている。社会保障口実に消費税を上げようとする政府の説明は不合理で許されない。



## 第2回現地実行委員会

第2回現地実行委員会では、松浦光宏事務局長（宮崎民医連）より、この間の経過報告、セミナー当日のイメージの説明を行った。

続く意見交換では、【1】2日目の基調講演②の講師候補、【2】25の報告テーマ案と分科会の設定、【3】アンケートプロジェクト、【4】参加費の



テーマでそれぞれ協議した。参加費については、九セミ構成団体からの参加費を一律3500円とするのに対し、宮崎現地実行委員と関係者は割引価格とし、多くの県民に参加を呼びかける方向性を確認した。

## 第3回現地実行委員会

9月2日(土) 14時—

場所：JA・AZM別館202研修室

ZOOM配信 <https://onl.tw/A8VBgYt>

学習会・リレートーク 14時—15時半

講師 富山幸子（とみやま・さちこ）さん

「ジェンダー平等が社会を救う」（仮）

学習会・リレートークは、現地でもZOOMでも、どなたでも参加できます。予約不要・無料。

ぜひお誘い合わせの上ご参加下さい☆

第3回現地実行委員会：15時半—16時半頃

プロフィール



神奈川県出身。宮崎大学教育学部卒業、1980年県庁に女性初の化学職で入庁。県工業試験場(当時)から産業振興、環境保全、企画調整部門等を経て県工業技術センター所長を歴任。(公財)宮崎県産業振興機構元常務理事、現在宮崎県男女共同参画センター所長。

### ●今後の予定●

7月26日(水)19時～第10回事務局会議(ZOOM)

8月16日(水)19時～第11回事務局会議(ZOOM)

8月30日(水)19時～第12回事務局会議(ZOOM)

9月2日(土)14時～第3回現地実行委員会

11月18日(土)・19日(日)セミナー当日

事務局まで  
ご連絡  
下さい♪

九セミ宮崎 2023 を一緒に作りましょう。  
現地実行委員会へのご参加お待ちしております

九セミ宮崎 2023 開催の趣旨に賛同いただける宮崎県内の団体・個人のみなさまに広く呼びかけます

実行委員団体・個人現在計 112 名

# セミナー記念講演の講師が決まりました!!

11月の九州セミナー当日の記念講演講師が決まりました。1日目18日(土)は詩人で社会学者の水無田気流さん、2日目19日(日)は弁護士の角田由紀子さんです。ぜひ聞きにおいで下さい。



1日目 11月18日(土)  
13:30-15:00

みなした きりう  
水無田 気流 氏  
(國學院大學経済学部教授)



2日目 11月19日(日)  
9:00-10:00

つのだ ゆきこ  
角田 由紀子 氏  
(弁護士)

撮影 永峰拓也

「居場所」のない男、「時間」がない女  
～「時空の歪みを超えるために」  
私たちができることを考える～

<プロフィール>

1970年神奈川県相模原市生まれ、詩人、社会学者。早稲田大学大学院社会科学研究科博士後期課程単位取得満期退学。現在、國學院大學経済学部教授。主にジェンダー論、文化・家族社会学論。詩集『音速平和 sonicpeace』思潮社・2005年で第11回中原中也賞、『Z境』思潮社・2008年で第49回晩翠賞受賞。評論に『「居場所」のない男、「時間」がない女』ちくま文庫・2020年、『多様な社会はなぜ難しいか 日本の「ダイバーシティ進化論』日本経済新聞出版・2021年など著書多数。テレビや新聞等でもご活躍中。

**私の推し★** うれしい人選です。水無田さんは十年ほど前、宮日でコラムを連載。各種統計データを基に、非正規雇用や貧困、男女の社会的課題、コミュニティの在り方などについて掘り起こし、読むのが楽しみでした。文章は平易でも熱があり、顔は笑っているけど目は笑っていない感じ。政治への疑義は今も古びていません。経済学部で教える社会学者ですが、語りには権威っぽい硬さがありません。中原中也賞などを受けられた詩人だと知り、納得しました。(M.T.会社員)

職場におけるハラスメント  
ジェンダー平等を阻むもの

<プロフィール>

1942年生まれ。1967年東京大学文学部卒業。1975年弁護士登録。1986年より東京・強姦救援センターの法律アドバイザー。セクシャル・ハラスメント、キャンパス・セクシャル・ハラスメントなど女性の権利に関する事件を多く手がけられる。1989年に福岡地裁に初めて提訴したセクシャル・ハラスメント裁判の原告代理人の一人であった。『性の法律学』有斐閣・1991年、『女性・暴力・人権』学陽書房・1994年、『ドメスティック・バイオレンス』有斐閣・1998年、『性と法律』岩波新書・2013年、『脱セクシュアル・ハラスメント宣言』かもがわ出版・2021年など著書、共著、編著書多数。

**私の推し★** 角田由紀子先生は、「永久凍土」と言われる日本の家父長制度：「女性を便利な奴隷と扱う」社会・文化・法制度に一貫して異を唱え、戦い続けてきた小さな巨人です。海外研究を含む広い学識や職歴をお持ちですが、決して「名誉男性」になることなく、人間愛と鋭い心のアンテナから紡ぎ出す言葉の数々。薄っぺらいキャッチーな言葉になびき、すぐ忘れる私達に「活」をくれること請け合いです。(松田幸子・弁護士)

**私の推し★** お寄せ下さい

第3回現地実行委員会開催します！セミナー本番前最後の実行委員会です

日時： 9月2日(土) 14時～

場所：JA・AZM別館202研修室

ZOOM配信 <https://onl.tw/A8VBgYt>

■学習会・リレートーク 14時～15時半頃



現地でもZOOMでも  
どなたでも参加できます。

参加無料・予約不要



「ジェンダー平等が社会を救う」

学習会講師 富山幸子(とみやま・さちこ)さん

長く産業振興分野、企業支援に携わってこられたご経験から、ジェンダー平等がイノベーションの創出、組織の活性化、地域活力の向上に不可欠であることについて、宮崎県のジェンダー不平等状況・課題にも触れながらお話いただく予定です。

プロフィール 神奈川県出身。宮崎大学教育学部卒業、1980年県庁に女性初の化学職で入庁。県工業試験場(当時)から産業振興、環境保全、企画調整部門等を経て県工業技術センター所長を歴任。(公財)宮崎県産業振興機構元常務理事、現在宮崎県男女共同参画センター所長。

■第3回現地実行委員会：15時半～16時過ぎ

開催要項、チラシ、宮崎県民(個人参加)用チケットを準備予定。アンケート集計・分析、分科会報告や広告の募集、参加呼びかけ、チケット取扱い、当日の要員配置等について協議する予定です。

宮崎の今 第4次みやざき男女共同参画プランより①

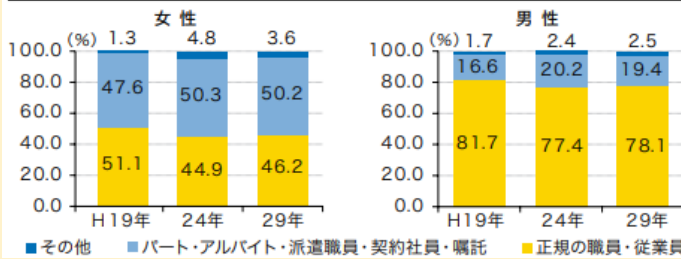
全国的に女性の給与水準は男性の約7割という状況が続く、宮崎県は76.7%となっています。

男女の賃金(所定内給与額)の比較

	宮崎県	全国
女性(A)	210.4千円	251.8千円
男性(A)	274.3千円	338.8千円
比率(A)/(B)	76.7%	74.3%

パート、アルバイト等非正規労働者の割合は、男性は約2割ですが、女性は約5割で推移しており男女間の格差が生じています。

雇用者(会社などの役員を除く)の雇用形態(宮崎県)



宮崎県、宮崎市、宮崎日日新聞社より  
名義後援をいただきました◎

締め切り間近!! ご協力下さい★  
ー性差別・ジェンダー平等アンケートー

8月末  
まで

今年の九州セミナーに向けて、九州各県でアンケートを実施しています。8月22日朝現在、個人用が294(うち宮崎77)、労働組合用が19(うち宮崎5)届いています。まだまだ絶賛取組中です!!

アンケートは **8月末まで**。個人用は匿名で、Googleformに入力する形式で、下記URLか

<https://forms.gle/iV5qpW8vyEuwRYKX6>

下記QRコードを読み取ることで、お手持ちのスマートフォンから回答いただけます。九セミ宮崎2023参加団体の構成員、実行委員、当日セミナーに参加予定の方は、アンケート対象者です。このニュースを読んでいるみなさま、ぜひご協力下さい☆



●今後の予定●

- 8月30日(水)19時～第12回事務局会議(ZOOM)
- 9月2日(土)14時～第3回現地実行委員会
- 9月13日(水)19時～第13回事務局会議(ZOOM)
- 9月29日(金)19時～第14回事務局会議(ZOOM)
- 11月18日(土)・19日(日)セミナー当日

事務局まで  
ご連絡  
下さい♪

九セミ宮崎2023を一緒につくりましょう。  
現地実行委員会へのご参加お待ちしております

九セミ宮崎2023開催の趣旨に賛同いただける宮崎県内の団体・個人のみなさまに広く呼びかけます

実行委員団体・個人現在計115名

本番前  
最後の

## 第3回現地実行委員会を開催しました!

9月2日(土)14時よりJAアズム研修室で第3回現地実行委員会を開催し、現地とZOOMを合わせて約80名にご参加いただきました。発言要旨をご紹介します。

**プロフィール** 神奈川県出身。宮崎大学卒業、1980年宮崎県に女性初の化学職で入庁。県工業試験場(当時)をスタートに産業振興、環境保全、企画調整部門を経験。県工業技術センター所長を最後に退職。(公財)宮崎県産業振興機構元常務理事、現在宮崎県男女共同参画センター所長。



学習会

### ジェンダー平等が社会を救う

富山幸子さん

旧姓で論文を書いてきて、婚姻で氏が変わると旧姓の私の存在がなくなったように感じた。

昨年現職に就任するまで特段男女共同参画や人権に触れることはなく産業振興や企業支援に携わってきたが、日本経済の停滞とジェンダー平等の遅れが繋がっていることを実感する。

1973年オイルショック以降のサービス業中心の経済の変化に、世界は女性差別禁止と女性登用促進でプラスを引き出し(英米等)、社会保障による女性就労支援でマイナスを緩和(北欧仏等)。しかし日本は逆に性別役割分担を強化してしまい、男女雇用機会均等法施行の一方で3号被保険者制度を導入。90年代後半からの格差拡大、非正規雇用増加で少子化、経済低迷期へ。

男性のみチームによる特許の経済的価値より男女混合チームの方が大きい。また男性のみチームを比較して女性活躍度の高い企業ほど経済的価値が高いとのデータは示唆的で興味深い。

世界がジェンダー平等を目指すのは、1 普遍的価値で、2 経済合理性に適い、3 持続可能性に不可欠だから。2000年以降は女性の労働力率が高い国程出生率も高い。経済発展した国の中で日本と韓国が例外的に出生率低い。家庭内におけるジェンダー不平等顕著、男性の育休取得が鍵。異次元の経験は「研修」、企業成績も伸びる。

日本でジェンダー平等が進まないのは、1 固定的性別役割分担意識、2 高度経済成長期の成功体験に固執し男性主導型の均質的組織の常態化、3 根強いアンコンシャスバイアス。対人リスクを恐れず発言でき対話できる環境が重要。

### 現地実行委員長開会挨拶

成見暁子さん

(宮崎くすの樹法律事務所)

学び、調査し、活動する準備過程を大切に、性差別のないジェンダー平等社会を願う幅広い方々に繋がり心強い。九州セミナー運動、労働組合運動自体も振り返る機会になることを期待する。

### 九州セミナー本部挨拶

日高琢二さん

(九州セミナー本部事務局長)

学べば学ぶ程ジェンダー平等問題が日本社会を変えるためのキーポイントになることを実感。

九州セミナーから社会を変えようとのメッセージを発信したい。

### 司会

松本朋子さん

(いの健宮崎)

### 宮崎県民・個人参加用

### チケット販売/予約始まりました★

9月11日(月)より宮崎県民・個人参加用のチケット販売/予約がスタートしました。一般 1,500円(報告集付)、大学生・院生 1,000円(報告集付)、高校生以下無料。事前にお近くの実行委員か、【チケット取扱場所】でお求め下さい。詳しくは九州セミナーHPの現地チラシ裏面をご参照下さい↓

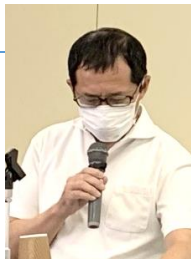
<http://www.kyusemi.jp/2023/news/33chirashi02.pdf>

## リレートーク

### ●宮崎大学教職員組合

木下統さん

職員の半数が有期の非正規職員。時給は低く最低賃金ぎりぎりの金額。雇用期限撤廃を求めている。全教員の男女比は男性 80.3%/女性 19.7%。組合では非正規の処遇改善に数年前から取り組み改善を勝ち取ってきているが、非正規職員の組織化が進まず、女性組合員は 1 割強に留まる。



### ●自衛官の命を守る家族の会

樋口のり子さん

海上自衛艦さわぎりでのパワハラで息子を亡くした。自衛隊内の人権侵害はこの 4 年間で 7 倍以上に増え、特に女性隊員へのセクハラ・性暴力の被害が続く。証拠がないと事実を否定しまるで戦時中の従軍慰安婦を否定するよう。その中で五ノ井さんのように立ち上がる人が出てきている。現職の女性隊員も、他の人が同じ目に遭わないようにと頑張っている。命令が絶対の組織で潰されないよう私達が寄り添い支援する必要がある。



### ●宮崎民医連 (宮崎県民主医療機関連合会)

秀亜紀子さん

今年 5~6 月介護事業所アンケートを実施し 222 事業所から回答。予想以上に長期のコロナ禍や急激な物価高騰に苦しめられている。行動制限のない地域社会と許さない介護現場のギャップ、メンタル不調に陥る職員も。介護人材確保も喫緊の課題。7 月 3 日宮崎市と懇談し補助金の今年度継続予定を確認。今年は介護/障害福祉サービス/診療の 3 報酬改定あり、軍拡ではなく国民の命と健康が守られるよう、介護する人/される人が共に大切にされる社会を目指していこう。



## 親子室/一時保育利用できます (無料)

\*2 歳未満のお子様は宮崎市民プラザ・オルブライトホール親子室(先着 6 組)が利用できます。  
\*2 歳以上は一時保育(無料)を準備中です。  
いずれも要事前予約。詳しくは九州セミナーWEBサイトに掲載予定。http://www.kyusemi.jp/



— 性差別・ジェンダー平等アンケート —

九州全体で個人 443、労働組合 51 回答分析してセミナー当日に報告します★



## 第 3 回現地実行委員会

松浦光宏事務局長(宮崎民医連)より、この間の経過報告、記念講演講師やパネルディスカッションのパネリストが決まったことなどを報告。会場にお越しになったパネリストのお 1 人足立佳代さんより自己紹介をしていただいた(パネリストは今後発行するニュースでご紹介予定です)。



続く意見交換では、【1】チケット販売/予約、【2】25 の報告テーマと分科会の設定、【3】アンケートプロジェクト、【4】広告募集、【5】当日要員のテーマでそれぞれ進捗を説明し、意見交換を行った。

## 現地副実行委員長閉会挨拶

永友英之さん (宮崎生協病院)



約 30 年前(前身の)労災セミナーに医師なりたてで参加し労働者の苦しみを知って衝撃を受けた。九州セミナーは医師、医療関係者のみならず弁護士、労働組合、市民等集まり勉強になる。発展を期待する。

## 宮崎の今 第 4 次みやざき男女共同参画プランより②

### 女性の政策・方針決定過程への参画状況

	全国	宮崎	順位
県職員(知事部局)の管理職に占める女性割合 (R3.4.1)	11.8%	7.0%	46位
県議会議員に占める女性割合 (R2.12.31)	11.5%	10.5%	23位
管理的職業従事者に占める女性の割合 (H27)	16.4%	16.6%	22位

宮崎県の県職員(知事部局)の管理職(R3)、県議会議員(R2)に占める女性の割合は、緩やかな昇傾向にあるものの全国平均を下回って推移し、上の表のとおりそれぞれ 7.0%、10.5%で、女性の政策・方針決定過程への参画は絶望的に遅れています。ちなみに、教職員の教頭以上・主要ポスト職に占める割合は 28.4%(R3)、管理的職業従事者に占める割合は 16.6%(H27)、自治会長に占める割合はわずか 4.6%(R3)と衝撃的な現状です。

## ●今後の予定●

9 月 11 日(月)宮崎県民・個人参加チケット発売  
9 月 13 日(水)19 時~第 13 回事務局会議(ZOOM)  
9 月 29 日(金)19 時~第 14 回事務局会議(ZOOM)  
11 月 18 日(土)・19 日(日)セミナー当日



## パネルディスカッション「ジェンダー平等社会を私たちの手に」 パネリスト決まりました★☆☆ 11月18日(土)セミナー1日目

九州セミナー1日目の11月18日(土)、パネルディスカッションのパネリストが決まりましたので、ご紹介します◎「**ジェンダー平等社会を私たちの手に**」～教育、家庭、労働、社会など各テーマで議論を深めたいと思います。

### パネリスト

#### 足立 佳代 (あだち かよ) さん

元公立中学校教諭。在職中に女性の人権やジェンダー平等教育について学び、「性別で分けない名簿」の推進等に努めた。県が委嘱する男女共同参画地域推進員として男女共同参画に関する講演や研修講座等の講師を務める。現在宮崎県男女共同参画審議会委員。



#### Sascha Klinger (サシャ クリンガー) さん

旧東ドイツ・ドレスデン出身。ベルリン自由大学で日本学と文化人類学の修士課程。2009年から2014年まで宮崎市の国際交流員を務める。2014年からサムエル幼稚園(宮崎市)園長に就任、途中宮崎県内の大学でドイツ語の非常勤講師。園長退任後の現在は小学校の外国語活動アシスタント、英語・ドイツ語講師、チェスクラブ運営などで活動中。



#### 太田 隼斗 (おおた はやと) さん

宮崎生協病院勤務の看護師(入職5年目)。長女誕生の際育休1ヶ月取得。今年4月双子が誕生し育休(1年予定)再取得、育児奮闘中。



#### 福田 朋実 (ふくだ ともみ) さん

宮崎公立大学でジェンダー論、メディア論を学び、東洋大学大学院社会学研究科社会学専攻博士前期課程で社会学(修士)取得。博士後期課程中マス・コミュニケーション研究、メディア研究。現在宮崎公立大学や専門学校等で非常勤講師を務める傍ら、民間学童保育ツクヨミでセンター長兼指導員を務め、日南市でフリースクール「Blue Bench」の活動開始。今年度から日南市男女共同参画審議会委員。



#### 松田 幸子 (まつだ さちこ) さん

弁護士。2012年県弁護士会会長、2013年日弁連副会長。日弁連男女共同参画推進本部委員等歴任。労災・労働事件、マタハラ・セクハラ訴訟、家事事件など多く手掛け、安保健法違憲宮崎訴訟弁護団事務局長を務める。



### 性的マイノリティが自分らしく働く権利 第2分科会助言者・ミニ講演講師

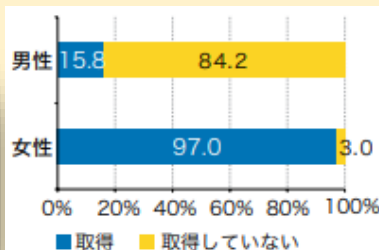
#### 山田 健二 (やまだ けんじ) さん

性的少数者の方々が安心して集うことのできる居場所づくりを目的に2016年設立の「レインボービュー宮崎」代表。交流会やパレードの開催、LGBT電話相談実施、講演会・研修会講師等で活動。



### 宮崎の今 第4次みやざき男女共同参画プランより③

宮崎県の夫婦のいる世帯に占める共働き世帯の割合は**52.1%**で全国平均を上回っています。家事の分担について「主に妻」「主に妻、一部夫」と



の回答は**84.4%**にも上り、県内事業所の育休取得率は、女性が**97.0%**に対し、男性はわずか**15.8%**に留まっています。

県雇用労働政策課「令和2年度労働条件等実態調査」育児休業制度の利用状況

# 分科会報告 25 のテーマで大募集中! 〆切間近!

エントリー〆切 10/11(水)

原稿〆切 10/18(水)

## ①★職場のセクシャルハラスメント・性犯罪の防止と救済

本年 6 月刑法の性犯罪規定が「被害者の同意」に着目するかたちで改正され、「強制的性交等」「強制わいせつ」罪から「不同意性交等」「不同意わいせつ」罪に名称も変更されました。職場の力関係を背景に行われる性犯罪を含むセクシャルハラスメントは、被害者の人格と尊厳を傷つけ人間らしく働く権利を奪う行為で、男女雇用機会均等法等により事業主にその防止が義務付けられていますが、いまだ多くの被害が発生しています。誰でも加害者・被害者になり得る問題です。セクハラ被害者の心理や行動、防止や救済のために職場や一人ひとりがなすべきことについてご報告下さい。

## ②職場におけるいじめ・ハラスメント対策

## ③★職場の性差別・ジェンダー不平等をなくすための労働組合の役割

ジェンダー平等後進国日本の社会で、男女の賃金格差をなくし、管理職に占める女性の割合の少なさを克服し、女性に対するあらゆるハラスメントをやめさせ、性別役割分担意識に基づく慣行をなくしていくために、労働組合の役割はとて大きいものがあります。しかし多くの労働組合で執行委員長はじめ役員を多くを男性が担っています。なぜ女性が少ないのか、どうすれば増やすことができるのか、現場の女性労働者の声が労働組合活動に反映できているか、労働組合用アンケートへの取組みなども参考に、ご報告下さい。

## ④★仕事と育児の両立支援

6 歳未満の子を持つ夫婦と子の世帯の家事関連時間は、夫 1 時間 54 分、妻 7 時間 28 分と 4 倍近い差があり、女性が「仕事も家事も」押し付けられて、正規雇用の継続や管理職を諦めるということにも繋がっています。背景には性別役割分担意識の他、男性の長時間労働があり、男女ともに人間らしい働き方ができていないといえます。職場では、人員削減の影響で育休が取りたくても取れない、取りにくいという状況もあり、どうすれば仕事と育児の両立をはかり、人間らしい働き方ができるのか、職場での実践などをご報告下さい。

## ⑤★性的マイノリティが自分らしく働く権利

性同一性障害の診断を受けた経産省職員が女性トイレの使用を制限されていることについて、本年 7 月 11 日最高裁は違法と判断しました。多様性を認める社会へ一歩ずつ進む一方で、本年 6 月に成立した「LGBT 理解増進法」は、一部与党の抵抗により歪められ多数派に配慮する文言が盛り込まれるなどし、今後の差別解消に逆行する事態が懸念されます。性的マイノリティへの差別や偏見に今も多くの当事者が苦しみ、働きづらさ生きづらさを感じています。差別や偏見の解消と多様性が尊重される社会の実現へ向けての取組みをご報告下さい。

## ⑥★農業で働く労働者の健康

旧農業基本法以来 60 年、日本の農業は日米安保条約と貿易自由化で激変してきました。家族農業も規模拡大に舵を切られ、出来ないところは離農に繋がっています。家族農業におけるジェンダー平等を実現するためにも、日本政府の化石のようなこれまでの農政を抜本的に転換させる必要があります。農民の健康や労働実態、ジェンダー平等に向けた取り組みや課題をご報告下さい。

- ⑦病気・障がいのある労働者の働く権利・休む権利
- ⑧働きながら介護を行う労働者の働く権利と健康
- ⑨雇用によらない働き方と健康
- ⑩メンタルヘルス不調者に対する支援
- ⑪感情労働と健康 ⑫外国人労働者の労働と健康
- ⑬医療・介護・福祉の現場から見た労働者の健康
- ⑭ひとり親世帯の働く環境と健康
- ⑮子どもの貧困 ⑯働く女性の健康
- ⑰非正規雇用と健康
- ⑱労働災害と補償(1)アスベスト、(2)じん肺・振動病(3)職業がん、(4)原発労働者
- ⑲過労死・過労自死 ⑳職場の労働安全衛生活動
- ㉑自営業・中小零細業者の健康
- ㉒公務労働者の労働実態と健康
- ㉓24 時間社会・深夜労働と健康
- ㉔ブラックバイト
- ㉕学校・職場・地域で働くルールを学ぶ



★九セミ宮崎 2023 オリジナルのテーマ

応募要領等詳しくは九州セミナーWEB サイト開催要項をご確認下さい。➡<http://www.kyusemi.jp/>  
11 月 19 日(日)2 日目の分科会は、提出された報告のテーマ、内容、数等に基づいてテーマと会場を決定し、当日配布の報告集でお知らせします!

## 当日の親子室/一時保育(無料) 事前予約を開始しました★



ご利用には、事前予約が必要です。九州セミナーWEB サイトの Googleforms よりお申込み下さい➡<http://www.kyusemi.jp/>

## ●今後の予定●

- 9 月 29 日(金)19 時~第 14 回事務局会議
- 10 月 11 日(水)19 時~第 15 回事務局会議
- 10 月 27 日(金)19 時~第 16 回事務局会議
- 11 月 18 日(土)・19 日(日)セミナー当日



## 8つの分科会設置決まりました!

11月19日(日)セミナー2日目

60を超える報告が届きました!

### 第1分科会

#### ハラスメントのない 職場をめざして

会場：1階オルブライトホール

助言者 角田由紀子氏(弁護士・記念講演講師)  
セクハラ訴訟を題材にした特別報告の他、在宅ケアにおけるハラスメント問題、労組のジェンダー平等宣言、ハラスメント対策等の報告予定。

### 第2分科会

#### 多様性を尊重できる職場づくり (性的マイノリティの視点から考える)

会場：4階大会議室

助言者 山田健二氏(レインボービュー宮崎代表)  
事務制服廃止の取組み、LGBTQ関連の意識調査、取組み等の報告予定。

### 第3分科会

#### 病気になった労働者の 働く権利・休む権利

会場：4階ギャラリー(1)

メンタル不調者に対する支援、メンタルヘルス対策、韓国における感情労働の現状等報告予定。



### 第4分科会

#### 労災職業病

～じん肺、アスベスト、振動障害など

会場：4階ギャラリー(2)

アスベスト関連疾患の取組み、訴訟・給付金制度改正めざす取組み、一人親方の実態等報告予定。

### 第5分科会

#### 職場の労働安全衛生活動

会場：4階中会議室

労基法など基礎から学ぶ事業所セミナー、労働安全衛生活動、喫煙に関するアンケート、医療・介護労働者が長く働き続けられるために、職員健診上部消化管内視鏡受診率向上を目指す取組み、埼玉県自民党県議団条例等報告予定。

### 第6分科会

#### 多様な働き方と健康

会場：4階学習室

建設業における働き方改革、プラチナ職員の働き方に関して等報告予定。

### 第7分科会

#### 医療・介護・福祉の現場から 見た労働者の健康(1)

会場：4階小会議室(1)

心筋梗塞発症患者の退院後の生活と労働の視点から疾患を捉える、新型コロナ後遺症で失業した介護職員の社会保障制度、コロナ禍でのゲスト透析患者受入れ、無料低額診療等報告予定。



### 第8分科会

#### 医療・介護・福祉の現場から 見た労働者の健康(2)

会場：4階小会議室(2)

「ゴミ屋敷」は自己責任?、救急搬送が治療介入・社会支援のきっかけに、最期まで自宅で過ごさせてあげたい、生活保護受給等報告予定。



**私の推し★** 水無田気流（みなしたきりゆう）さんという方をテレビ番組でみかけたのがきっかけでした。動機がいい加減と言えそうですが、こんな素敵なペンネームをご自分につけるなんてどんな方？とそこから関心を持ちました。是非実際に話を聞いてみたいと常々思っていました。まさかこの九セミの講師として実現するとは幸運です。

水無田気流さんは詩人です。さらに社会学者でもあります。私の力点は“詩人”です。2003 年に第 41 回「現代詩手帖賞」、2006 年に「音速平和」で第 11 回「中原中也賞」、2008 年「Z 境」で第 49 回「晩翠賞」を受賞。この筆名は中原中也の「蟬」にある「水無河原」と松尾芭蕉の「不易流行」から当て字にしたものということです。さらに「田中理恵子」の本名で経済学者として國學院大学教授でもあり「文化社会学」「家族社会学」「ジェンダー論」を研究されています。↑

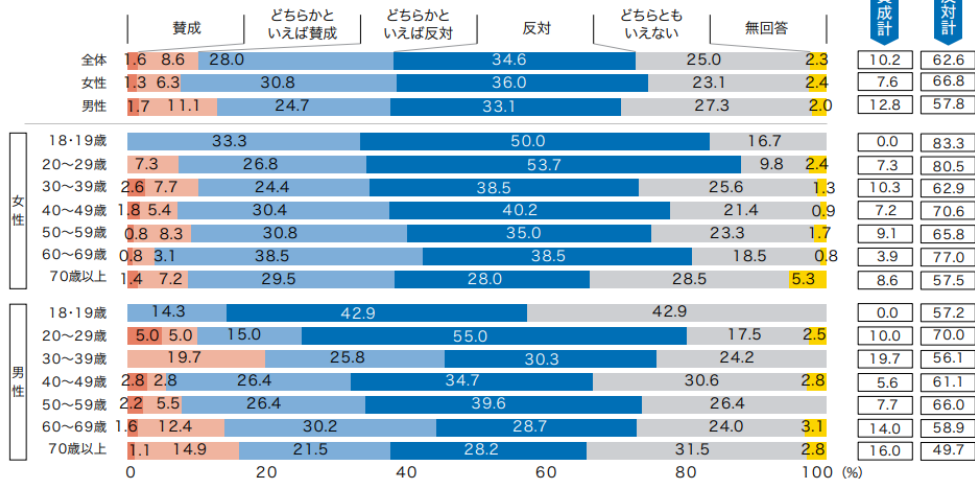
水無田気流さんは著書の中で、バリバリのキャリアウーマンだけが第一線で活躍するのではなく、誰もがその人なりの輝ける姿を見出せばよいのだと、気後れがしてついていけそうもない私でも納得です。また「頑張った自分にご褒美をあげよう」というのがあるけれど、頑張らない自分でもいいのだ、と自己肯定感を促してもいます。

今、日本で、世界で「女性の活躍、社会参加」に関心が集まっています。女性が正當に扱われなかった歴史が長く続き、だからこそ関心が向けられているのだと思います。その中で水無田気流（田中理恵子）さんからどのような話が聞けるのか楽しみです。著書をいくつか挙げておきます。

「シングルマザーの貧困」「無頼化した女たち」「背表紙の社会学」「『居場所のない男』、『時間がない女』」「多様な社会はなぜ難しいか」他多数。  
小玉かおる

## 宮崎の今 第 4 次みやざき男女共同参画プランより④

■男女の役割分担意識についての考え方(性別・年齢別)



「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という性別によって役割を決めつける考え方について、「賛成」「どちらかといえば賛成」の回答 **10.2%** に対し、「反対」「どちらかといえば反対」の回答は **62.2%** と大きく上回っています。「賛成」の回答は、全体で女性より男性が多く、また 30 歳代が他の年代より多い傾向です。

## MRT ラジオ「みんなの防災」 午前 11 時 20 分～30 分★生放送★

本番までの 3 週連続で、九州セミナーに関わる弁護士より労災問題の解説とともに、九州セミナーの紹介をさせていただきます！

- ① 10 月 27 日(金) 弁護士・西田隆二
- ② 11 月 3 日(金・祝) 弁護士・松田幸子
- ③ 11 月 10 日(金) 弁護士・成見暁子

## 2023 年ノーベル経済学賞に男女間の賃金格差の要因等研究のクラウディア・ゴールドディン氏(米ハーバード大教授)

記者会見「日本の女性は真の社会参画進んでいない」

### ●今後の予定●

- 10 月 27 日(金) 19 時～第 16 回事務局会議
- 11 月 6 日(月) 19 時～第 17 回事務局会議
- 11 月 15 日(水) 19 時～第 18 回事務局会議
- 11 月 18 日(土)・19 日(日) セミナー当日